



十五日 千栗八幡宮例祭

十六日 田島神社例祭

大宮司招宴 於神宮会館

十七日 神宮大麻暦頒布始祭

於神宮

伊勢神宮崇敬会地方本部事

務局長会 於神宮会館

神社庁長懇話会 於神宮会館

十八日 神社庁長会 於神宮会館

二十日 神社本庁教誨師研究会(二

十一日) 於佐嘉神社記念館

二十一日 国民精神昂揚運動合同研修

会(二十二日) 於龍登園

松蔭神社例祭

二十六日 神宮大麻暦頒布始奉告祭

於神社庁

十月

十九日 稲佐神社例祭

白石神社二〇〇年式年祭

**神職総会並びに時局研修会**

去る八月二十九日(火)午前十時半より、平和会館三階「神殿の間」において令和五年度神職総会が開催された。座長には慣例により村田副庁長が登壇し、議事を進行した。

まず、去る七月二十七日に開催された神社庁協議員会にて承認された神社庁



事業報告並びに一般会計歳入歳出決算を事務局が報告。また神宮大麻頒布活動推進、第七十五回九州各県神社庁連合会神職総会についてが順次説明と協力依頼がなされた。

午後一時からは時局研修会が開催され、「時局問題と憲法改正」と題した講演を神社本庁渉外部長参事 小間澤肇先生から三時間頂戴し、参加者は終始耳を傾け、有意義なものとなった。

**事務連絡**

令和五年八月二十二日付 県総務部法務私学課公益法人担当係長名各教(宗)派佐賀県代表者宛

**▼外来カミキリムシ類に関する注意喚起について**

本県の宗務行政につきましては、日頃から御協力をいただき厚くお礼を申し上げます。

さて、クビアカツヤカミキリやツヤハダゴマダラカミキリ等を代表とする外来カミキリムシ類は公園、街路樹の他、森林や農地、学校等の樹木への加害が進

むことで、枯死、落枝、倒木等による人的被害や農業被害、自然景観や生態系への影響が懸念されることから、環境省では、各関係省庁、各都道府県と連携し、外来カミキリムシ類に関する情報提供及び注意喚起に努めています。

外来カミキリムシ類の防除に当たっては、早期発見、早期駆除の徹底がまん延を防ぐ効果的な手法となりますが、一方で、対策が講じられない地域や施設があると、周囲の対策を講じている地域にも被害が及ぶため、物理的にも組織的にも一体的な対応が必要となることから、連携強化が重要となっています。

ついては、早期の対策を講じるためにも、当該外来種の早期発見、早期駆除の徹底を本県内の貴教(宗)派に周知いただきますよう、お願いいたします。(担当)

法務私学課 公益法人担当

橋本、平川

電話〇九五二―二五―七〇〇二

**◆◆神社保育たより◆◆**

**第六十五回**

**九州地区神社保育講習会**

佐賀県神社保育会長 松中 浩泰

神社保育会の夏期恒例行事「九州地区神社保育講習会」が八月二十六日(土)・

二十七日(日)の両日、唐津市の唐津シーサイドホテルにて開催され、九州一円より百七十名の施設教職員が参加した。この講習会は今回で六十五回を数え、近年は疫禍の影響で中断、久しぶりの開催として佐賀県が当番を迎えた。

当日は午後一時三十分から開講式。先ず冒頭に神社保育関係物故者へ黙祷が捧げられ、開会儀礼、当番県徳久神社庁長の挨拶、当番県保育会長松中がそれぞれ挨拶。

続いて長年各施設にて幼児の教育に功績のあった方々に神社本庁統理の褒詞が徳久庁長から伝達された。

その後は九州地区神社保育団体連合会阿曇史久会長(福岡県・風浪宮宮司)が挨拶を行い、初日はニコマの講習を行った。

中でも午後二時からのニコマ目は当県の永代優仁妻山神社祓宜が講演。前職を活かしたスキルで「心と身体の整え方」変えられることと変えられないことと題して熱弁をふるい、参加者は熱心にノートをとる等して、日頃の職務に活かそうという姿が多く見られた。

次のニコマ目は佐賀県出身のトランプット奏者、平慶久さんが主宰するミュージックセラピーオーケストラの楽団

により、リトミックの実践方法を生の楽器を用いて指南、その後はプチコンサーとも披露され会場は大いに賑わった。

その夜の懇親会は唐津曳山囃子保存会による清興でスタート、松中が歓迎の挨拶をおこない、全国並びに九州地区神社保育団体連合会の西高辻信良顧問(福岡県神社庁長)が乾杯を発声、途中では数園からの演し物が披露され、久しぶりに集う保育関係者ならではの懇親会は大盛り上がりとなった。

翌朝は来賓や各県会長が唐津神社に正式参拝した後、二日目の講習。

講師はインナーホスピタリティコンサルティング代表の鳥谷憲樹さん、武雄市で最近までトラットリヤマミサカというイタリアンレストランを経営され



ていた御経験を踏まえ「レストランサービスからの提言」と題し二時間にわたって、サービスやクレーム対応など幅広く講演を戴き、ここでも参加者は熱心にノートをとっていた。

閉講式では前日の御臨席が叶わなかった全国神社保育団体連合会篠直嗣会長より挨拶を賜り、来年は大分県開催となることから、佐藤成己大分県会長が参加を呼びかけ、二日間にわたる講習会は無事に終了した。

御協力戴きました皆様に紙面を借りて御礼申し上げます。

☆神社本庁統理褒詞受章者☆

佐賀県・掘江保育園 松中朝比古

(五年)

九州総勢十八名

### ◆◆教化委員たより◆◆

土器山八天神社宮司 朝日 芳彦

地区の夏祭りが、三年ぶりに再開されました。新型コロナウイルスが終結したわけではありませんが「それでもやっぱりやりましょう。短時間でいいです。お互いの元気な顔を見せ合って結び付きを確かめ合いましょう」と区長さんの熱意と地区の皆さんの協力により実現しまし

た。

神事が執り行われるのは、白角折(おしとり)神社平安時代から神埼の櫛田宮千代田の高志神社と共に神埼荘の三所大明神とされた神社です。御祭神の日本武尊命が熊襲征伐の折に白角折神社から城原川を挟んだ対岸の折(いくわ)地区に向かつて矢を射たという伝説があり、今も神社名と地名が存在する事から白角を折る御幣作りの白角折(おしとり)部とまとを射る(いふく)弓矢(行く羽)弓作りの的(いくわ)部という集団がこの地域に居住していたと考えられています。吉野ケ里より北部一帯の丘陵には、武器や馬具を埋葬した古墳群が広がっています。

夏祭り 未だ夏真つ盛りの八月二十日多くの方が早朝から準備作業に精を出していました。午後から祭典が始まり区長さんをはじめ役員や子供代表など十人が玉串を奉りて拝礼。終わりに参列者約五十人が御神酒を戴き、引き続き公民館へ移動、直会の支度をして待機中の皆さんと合流、区長さんのお話に続き私も地区の皆さんに代々伝統を大切に受け継ぎ子供達へ伝承する為尽力されている様子に感銘した事と、由緒ある御社の祭典を御奉仕出来た感謝の気持ちを書

し上げて、ひと時の団欒を過ごさせてもらいました

お年寄りから子供まで、それぞれの年代の人達が満遍無く参加し、特設のそうめん流し、ミニプールで鰻とヤマメのつかみ取り、焼きそば、ポテト、綿菓子コーナー等交代でお世話されていました。設営も大変だったでしょうが、皆さん笑顔で和気藹々子供達も大歓び、こうして地区の風習は自然と受け継がれて行くのだと実感しました。

#### ◆◆研修修了レポート◆◆

##### 祭式指導者養成研修会に参加して

淀姫神社 祢宜 田中 寛美

七月二十六日から二十九日の四日間に亘り、神社本庁総合研究所主催による神社庁祭式指導者養成研修会が國學院大學に於いて開催され、一回生として参加させて頂いた。この研修は、基本三年連続の受講により、三年目は各々が全受講生を対象に指導をして終了となる。御代替わりや新型コロナウイルスの影響により、五年ぶりの開催となったこともあり通年より多い三十九名の参加となった。

一日目、十二時受付開始、開講式、一限目、祭祀伝統についての講義を全員で

受講した。二限目、全受講生に対し、十五分間の指導教案の作成方法についての指導が行われ、その後一回生・二回生教室を別にし、一回生は衣紋の指導を受けた。

二日目一限目、姿勢について。二限目、普通礼について。笏法・扇法を用いた作法について。三限目、拝について。四限目、敬礼及び警蹕について。

三日目一限目及び二限目、踞居及び進退について。三限目、質疑応答。四限目、二班に分かれ、三回生・二回生・指名された一回生による四日目の総合祭典に向けた習礼。

四日目、総合祭典。前半は手水から祝詞奏上迄。後半は再び祝詞奏上から宮司一拝迄が斎行された。

一回生は殆どの者が見学であったが、二時間半近くに及ぶ祭典はとても厳かで優雅で且つ美しく感動を覚えた。祭りの流れを大切にし、真心を込めて神にお仕えること、心を表現したものが作法であり、作法を大切にすることが敬意を表す。長い歴史と伝統を経て規定された作法は、一日で習得出来るものではなく、日頃からの心掛けが大切である。とても有意義な研修であり、この機会を与えてくださった神社庁の方々に感謝してい

る。

## ◆◆◆神青会たより◆◆◆

## 第四十九回

## 神道青年九州地区協議会研修会

伊勢神社祢宜 古川 恭子

去る八月七日、長崎県にて第四十九回神道青年九州地区協議会研修会が開催されました。元長崎女子短期大学教授・料理研究家 脇山順子先生より、被爆体験と戦時中の食生活についてご講和いただきました。



ご講和の中で、印象に残った内容は、「三百六十五日の中で、ご飯粒を食べることができたのは一、二回だけであった」「タンパク質は煮干ししかなかった」というものです。「欲しがりません勝つまでは」「贅沢は敵だ」というスローガンのもと、毎日必死に生きていた当時の人々の暮らしについて、実体験を踏まえてご講話いただき、私たちが日頃どれだけ安全で恵まれた環境で生活しているのかを考

えさせられました。脇山先生が若い世代に伝えたいメッセージは「今を一生懸命生きる」ということです。

食べ残しをすぐに捨ててしまおう、今の恵まれた現状を当たり前と考えず、日々感謝して生きることが大切にしたと思います。

また、東京大学大学院情報学環学際情報学府教授の渡邊英徳先生より、「戦災・災害のデジタルアーカイブ」についてご講話いただきました。白黒写真をカラー化したり、自身のアバターを写真に投影したりする技術を用いて、七十八年前に起こった原爆の悲劇を分かりやすく再現したものが、デジタルを用いた多元的アーカイブです。このデジタルアーカイブにより、若い世代もまるで自身が原爆被害を体験したような感覚になり、自身のストーリーとして強く記憶に刻まれます。そして、さらに後の世代にそれを語り継ぐことができるようになると思います。

当研修会を通して、原爆や戦争の悲惨さ、今ある平和の大切さに改めて感じ、深く学びを得る機会となりました。この気持ちを決して忘れることなく、日々修練に努め今後の自分に生かしていきたく

と思います。このような機会をいただき心より御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

## 神道青年九州地区協議会

## 親善スポーツ大会

佐嘉神社権祢宜 落合 洲造

去る八月八日に長崎県に於いて神道青年九州地区協議会親善スポーツ大会が開催されました。台風六号の接近に伴い開催が危ぶまれましたが、当番県の長崎県、各関係の協力により無事開催の運びとなりました。

例年、親善野球大会として各県チームを作り親睦を深めておりましたが、本年はモルック(木製の投げ棒)、スキップ(木製のピン)、モルツカリー(投げる位置を示す木製の棒)の三つの道具を使用するモルックなる軽スポーツにて各県と競技し、親睦を深めました。

動画等で事前に予習をし、棒を投げ、木の棒を倒し点数を競いあうだけの簡単なスポーツと思



っておりましたが、想像以上に難しく各チーム作戦をたて協力しながら競技しました。佐賀県は四人一組の三チームに別れ各県と対戦し見事、戸川・大島・永代・落合チームが優勝することができました。半日間の研修ではありましたが、県内の青年神職はもとより各県の青年神職とも親睦を深めることができ、大変有意義な研修となりました。

来年は佐賀県が当番県となっており、ますので、青年会一同力を合わせ心をつにし、良き研修会となるよう努めてまいります。

研修修了報告

神社本庁総合研究所直轄研修

■神社庁祭式指導者養成研修会

一、日 時 令和五年七月二十六日  
(水)～二十九日(土)  
三日間

一、場 所 國學院大學  
一、修了者 淀姫神社祢宜 田中寛美

■神社庁雅楽指導者養成研修会

一、日 時 令和五年八月四日(金)  
～六日(日) 二・五日間

一、場 所 神社本庁  
一、修了者 金刀比羅神社

佐賀県神社庁研修所主催

■雅楽研修会

一、日 時 令和五年八月二十四日(木)

一、場 所 佐嘉神社  
一、修了者

金立神社宮司	阿久津 奈美恵
金刀比羅神社宮司	古川 勝茂
岡山神社宮司	栗原 潔
熊野神社祢宜	石橋 雅彦
八幡宮祢宜	黒髪 宜嗣
伊勢神社祢宜	古川 恭子
佐嘉神社祢宜	藤田 俊介
佐嘉神社権祢宜	溝口 裕基
佐嘉神社権祢宜	山下 美幸
神社庁録事	名和 長高

十名

宮司 古川勝茂

■時局研修会

一、日 時 令和五年八月二十九日(火)

一、場 所 平和会館「神殿の間」  
一、修了者

日枝神社宮司	日吉 高明
日枝神社祢宜	日吉 照彦
大堂神社祢宜	石丸 正和
海童神社祢宜	光増 隆昭

波多八幡神社宮司 香椎神社宮司  
唐津神社祢宜 永世神社祢宜  
八幡神社宮司 熊野神社宮司  
戸川 堤 石橋 明彦  
宮崎 健信  
宮崎 貞克  
宮崎 浩司  
宮崎 清祐  
中島 暢史  
野崎 洗史  
加志田 浩一  
田中 美香  
北島 美香  
八幡神社宮司 伊万里神社宮司  
田嶋神社祢宜 伊万里神社宮司  
妻山神社宮司 妻山神社宮司  
妻山神社祢宜 妻山神社宮司  
笠原 優仁  
中村 勝猛  
北村 建正  
有森 龍弘  
宮崎 春己  
池田 知史  
前田 俊二  
佐野 安正  
眞崎 実央  
落合 洲造  
溝口 裕基  
山下 美幸  
佐嘉神社権祢宜 佐賀縣護國神社宮司

事務報告

【神職帰幽】

■天山神社宮司 泉 靖雄 氏(二級)

令和五年八月二十五日逝去

(享年九十一)

謹んでお悔やみ申し上げます

佐賀県護國神社権祢宜 川浪雅英

伊勢神社祢宜 古川恭子

龍造寺八幡宮祢宜 江頭慶宣

三十五名

・國見 第二二八号 岡山県神社庁 様

・すいとく 第八二九号 茨城県神社庁 様

・あしかひ 第一二三号 竹駒神社 様

・北海道神社庁報 第一二八二号 大阪府神社庁 様

・大三島宮 第二一〇号 北海道神社庁 様

・神政連三重―神道精神を国政の基礎に― 第三四号 大山祇神社 様

・神道政治連盟三重県本部 結成五〇周年記念冊子「知ろう!学ぼう!私たちの国 私たちは何も知らない日本のこと」 三重県神社庁 様

・二葉 第一五一号 広島県神社庁 様

・神政ひろしま 二九号 山形県神社庁 様

・山形県神社庁報 第一四八号 山形県神社庁 様

・兵庫神祇 第六一六号 兵庫県神社庁 様

・大阪国学院だより 第三七号 生田神社 様

・一般財団法人大阪国学院 様

・うぶすな 第一三二号 岐阜県神社庁 様

・かひがね 第二〇二号 山梨県神社庁 様

・熊本県神社庁報 第一七一号 熊本県神社庁 様

・高知県神社庁報 第八六四号 高知県神社庁 様

・岡山県神社庁報 第一三五号 岡山県神社庁報 第一三五号 様

寄贈書籍等 目録並びに御芳名

自 令和五年 八月 一日  
至 全三十一日

・むすび No.一六〇

・大阪国学院だより 第三七号

・うぶすな 第一三二号

・かひがね 第二〇二号

・熊本県神社庁報 第一七一号

・高知県神社庁報 第八六四号

・岡山県神社庁報 第一三五号

・岡山県神社庁報 第一三五号

・岡山県神社庁報 第一三五号

・岡山県神社庁報 第一三五号

・岡山県神社庁報 第一三五号

～支部長・支部幹事 殿～

■ 令和4年度神社庁活動概況調査にかかる報告書提出方依頼 ■

昨年度貴支部管内における活動状況の取り纏めに御協力をお願い致します。

報告締切：10月13日(金)必着

取り纏め表をデータにて希望される方は、その旨神社庁にメール下さい。

※貴支部での神宮大麻頒布始奉告祭の日時・場所等、詳細が決まりましたら、神社庁事務局までお知らせ下さい。

### 令和五年度神宮大麻曆頒布始奉告祭の御案内

初秋の候、時下益々御清祥の事とお慶び申し上げます。  
扱、貴職には毎年神宮大麻・神社廳曆頒布に際し、御尽力を賜り衷心より感謝申し上げます。

つきましては、左記の通り奉告祭を斎行致しますので、社務等御多端の折とは存じますが、お繰り合わせの上、御参列戴きます様お願い申し上げます。

併せて、神宮大麻頒布優良奉仕者表彰の伝達式を挙行致しますことを申し添えます。

#### 《記》

一、期日 令和五年九月二十六日(火)午後二時斎行

一、場所 平和会館三階「神殿の間」

一、案内 神社庁役員、監事、協議員、教化委員、研修所講師、

支部長、支部幹事、大麻幹事、ほか管内全神職

総代会長、副会長、総代会支部長、評議員、関係指定団体会長

一、回答 直会準備の都合上、往復葉書の返信面にて**九月十九日(火)迄**

に出欠をお知らせ下さい。

一、備考 当日は各支部への頒布式も併せて行いますので、各支部総代会

支部長の御出席につき御配慮願います。

万が一、総代会支部長の都合が付かない場合は代理の方が御出席戴く等の対応を戴ければ幸甚に存じます。

### 国民精神昂揚運動合同研修会

九月二十一日(木)・二十二日(金)にて恒例の国民精神昂揚運動合同研修会を大和町・ホテル龍登園にて開催致します。

神社関係者お誘い合わせの上、多数の御参加を賜りますようお願い申し上げます。

尚、申込みは支部から神社庁へ九月一日までとしておりましたが、未だお申込でない支部はなるべく早めにお問い合わせ致します。

### 【お知らせ・お詫び】

◎九月三十日(土)は平和会館の電気設備工事に伴う停電の為、閉庁致します。  
御承知置き願います。

◎庁報八月号十頁、研修講師氏名中、誤記がありましたので茲にお詫び申し上げます。

〔正〕 早田 伸次 先生

〔誤〕 早田 信次 先生